

きつとね!通信

【第21号】

令和元年 9月吉日
発行責任者 有塚 利宣
編集 集 長野 勝美

米沢のりひさ連合後援会・とかち幸せきつとね会
〒080-0012 帯広市西2条南3丁目20 帯広グランドホテル3階
TEL (0155) 26-7100 / FAX (0155) 26-8858



～2019 きつとね!まちづくり報告会 開催～ 「フードバレーとかち・なつぞら」と題し、 最近の取り組みと実績、想いを話しました。

米沢市長が、市政の取り組みを皆様にお伝えする「きつとね!まちづくり報告会」が、去る7月23日、北海道ホテルで開催されました。昨年4月にスタートした米沢市政3期目の取り組みや想いを多くの皆様にお伝えする機会として開催しました。管内の町村長や農業、商工業など各層各団体の代表の方をはじめ、遠方より駆け付けた方々など、約400名の皆様にご来場いただき盛會裡に終了することができました。どうもありがとうございました。

報告会は、金澤実行委員長の開会挨拶、来賓を代表して帯広商工会議所の梶原雅仁副会頭のご挨拶をいただきスタートしました。

ご来賓の梶原副会頭からは、日本の大きな課題である、人口減少・少子高齢化・人手不足・働き方改革などに対して米沢市政が果敢に挑戦し、確実に前進しているとお話をいただきました。また、「フードバレーとかち」が形となった「とかちマルシェ」が食のイベントとして大きく成長してきたこと、さらに、NHKの「なつぞら」が十勝・帯広を舞台



米沢市長近況報告

となったことを米沢市長の強運と評し、お話をいただき、帯広商工会議所も米沢市長と協力して十勝・帯広の発展に努めると力強いお言葉をいただきました。

市長の話は、NHK連続テレビ小説「なつぞら」の話が始まりました。「なつ、お前には家族はおらん。しかし、わしらがいる。」「こなた（なつの幼少期）」が家出をし、十勝川の河原で柴田家の皆さんと再会した時、草刈正雄が演じる柴田泰樹が掛けた言葉です。多分、皆さんも一緒だと思いますが、この瞬間それまでかなり弱くなっていた涙腺が敢え無く決壊しました。以後、ドラマのテーマソングが流れるだけで条件反射のように鼻の奥がツーンとしてくるそんな6ヶ月が始まりました。

十勝を舞台とする「なつぞら」は今も20%を超える高視聴率を上げています。なぜ、十勝が舞台に選ばれたのかディレクターの方に質問したことがあります。いくつか理由を挙げておられました。一番に言ったのが「時代を切り拓いて行く確かなエネルギーがここの十勝に感じられるから。」「このように言っていたら大変誇らしく感じたところです。」

「わしつがおる。」「十勝の人達の結びつきの強さ、そして厳しさに裏打ちされた優しさを一言で表現し、さすが脚本家、プロだと脱帽しました。昨年12月に「広報おびひろ」の取材で、柴田泰樹を演じます草刈正

雄さんと対談をさせていただきました。今、ドラマが始まり、主人公は草刈正雄だなど感じるにつけ、今回一緒に話ができ良かったと思っています。実はそのときに十勝の開拓者精神について話が及びました。草刈さんはこうおっしゃいました。「十勝の開拓者精神は、決して諦めない心でしょう。」「十勝の人達の強さ、これは何があっても諦めないこと、この7月の天気のようにあてにならない自然を相手に、こつこつ努力を積み重ねて生きる積小為大と言うような生き方ではないかと思っております。努力したからと言って成功するとは限りません。しかし、間違いないのは成功した人は、必ず努力をしている。このことをこの地域の歴史・文化として我々は受け継いで来ています。それが我々の十勝であります。」

(裏面へ続く)



報告会の様子

報告会は2部構成で、第一部が近況報告、第二部が『フードバレーとかち』のまちづくりと現在放送されている「なつぞら」を重ねながら最近の出来事について、報告がありました。

第一部の近況報告は、「十勝ドリームマップ会議2019」、「道経連会報でフードバレーとかちを発信」、「帯広市民文化ホール改修 こけら落とし」、「中部国際空港で十勝をPR」、「新総合計画特別委員会」、「とかち・イノベーション・プログラム2019」、「首都圏イベント十勝大百貨店」などの11項目について、それぞれ説明がありました。

第二部では、NHKの「なつぞら」を活用した様々な取り組みが紹介されました。今、なつぞら効果で観光客が増え、明らかに景色（人の流れ）が変わったとの声を多くの皆さまから聞くところ、紹介し、「なつぞら」で思うのは、現在の十勝の開拓者精神、そして前向きなチャレンジ。僕は今これを発信しなくてはいけない。ただ、「ノスタルジックに昔はすごかったんだよね。」だけではなく、依田勉三さんがいて、そこで始まった晩成社の開拓から百三十有年経った時の今の十勝はもっと凄いな。もっと可能性がある地なんだ。これを発信していかなければな

らないと思っています。」と話しました。

続いて、「十勝ヨーグルトプロジェクト」商品発売、「畜産公社十勝工場 対米輸出認定」、「バイオガスプラント整備の推進」、「とかちのやりたい実現力フェア L.A.N.D.」、「道東道4車線化決定」、「道内7空港一括民間委託」などについて、それぞれ説明がありました。

最後に「大切にしたい 泰樹からのメッセージ」として、次の言葉が紹介されました。「ちゃんと働けば、いつか報

われる日が来る。だが、一番悪いのは、人が何とかわしてけると思っていることだ。人は、人を当てにする者を助けたりはせん。逆に、自分の力を信じて働いていけば、きっと誰かが助けてくれるもんだ。堂々とここで生きろ。」

市長は最後にこう締めくくりました。「ごうでしたか、僕はこれを見たときは、テレビの画面が震えました。もう大人向けですよ、この言

「なつぞら」で十勝を発信



葉。そう思いました。素晴らしいなと思えました。十勝の人達が持っている優しさとか強さとか、そして何よりもここで言いたいのは、十勝の人達が持っている矜持、プライドではないかと思えます。そういうものを良くくすくすあげて、あのドラマにしてくれたなと改めて感心いたしました。これからも、皆さんとこの十勝で、堂々と生きることをお約束し、今日の私からのお話を終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。」と締めくくりました。

●会からのお知らせとお願い●

「2019 きっとね! 年末交流会」開催決定!

きっとね!

- 日時 11月29日(金) 午後6時30分～
- 会場 ホテル日航ノースランド帯広 (帯広市西2条南13丁目1)
- 会費 5,000円 (当日お納めいただきます)
- 主催 米沢のりひさ連合後援会・とかち幸せきっとね会

◎市長を囲んで、皆様と身近で語り合う恒例の年末交流会の開催が決定しました。今年も有意義で楽しい会になる様、しっかり準備を進めてまいります。事前にお申込みいただければどなたでも参加できますので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

◎詳細につきましては、後援会より別途ご案内をさせていただきます。お問合せは、後援会事務所まで。